

CITY OF YOKOHAMA

新たな交通(瀬谷バス専用道線)整備事業

事業説明会

令和8年1月16日(金)、17日(土)

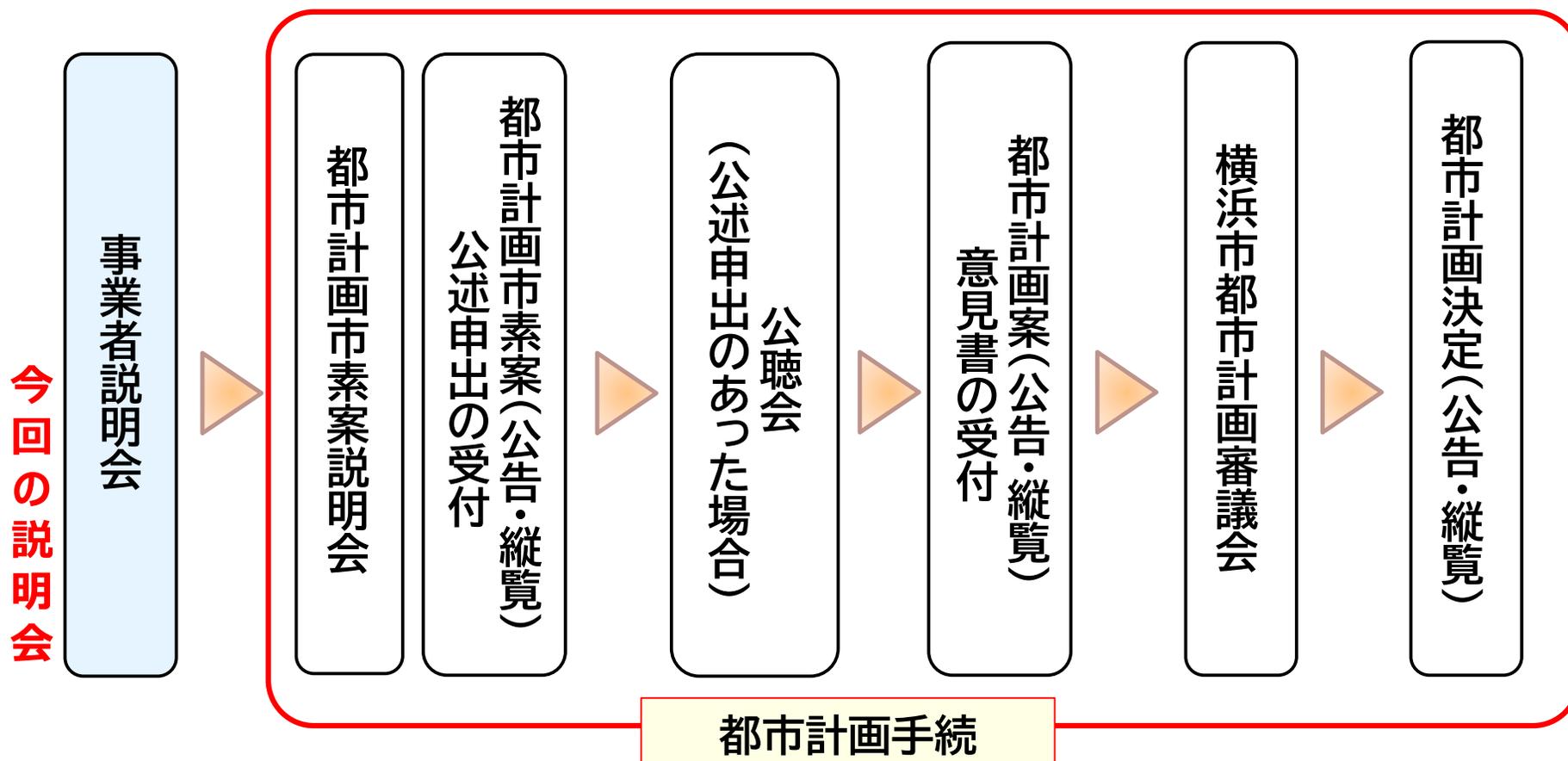
横浜市
脱炭素・GREEN×EXPO推進局
上瀬谷交通整備課



横浜市

- ・本日の説明会は、都市計画を定める法定手続に先立って周辺地域のみなさまに、本事業の概要をお伝えし、ご意見をお伺いするものです。

【参考】都市計画手続の流れ



1. 経緯

(1)本市西部地域の交通の現状

(2)旧上瀬谷通信施設地区におけるまちづくり

2. 事業計画の概要

(1)事業方針

(2)整備概要

3. 今後の事業の進め方

1. 経緯

(1)本市西部地域の交通の現状

(2)旧上瀬谷通信施設地区におけるまちづくり

2. 事業計画の概要

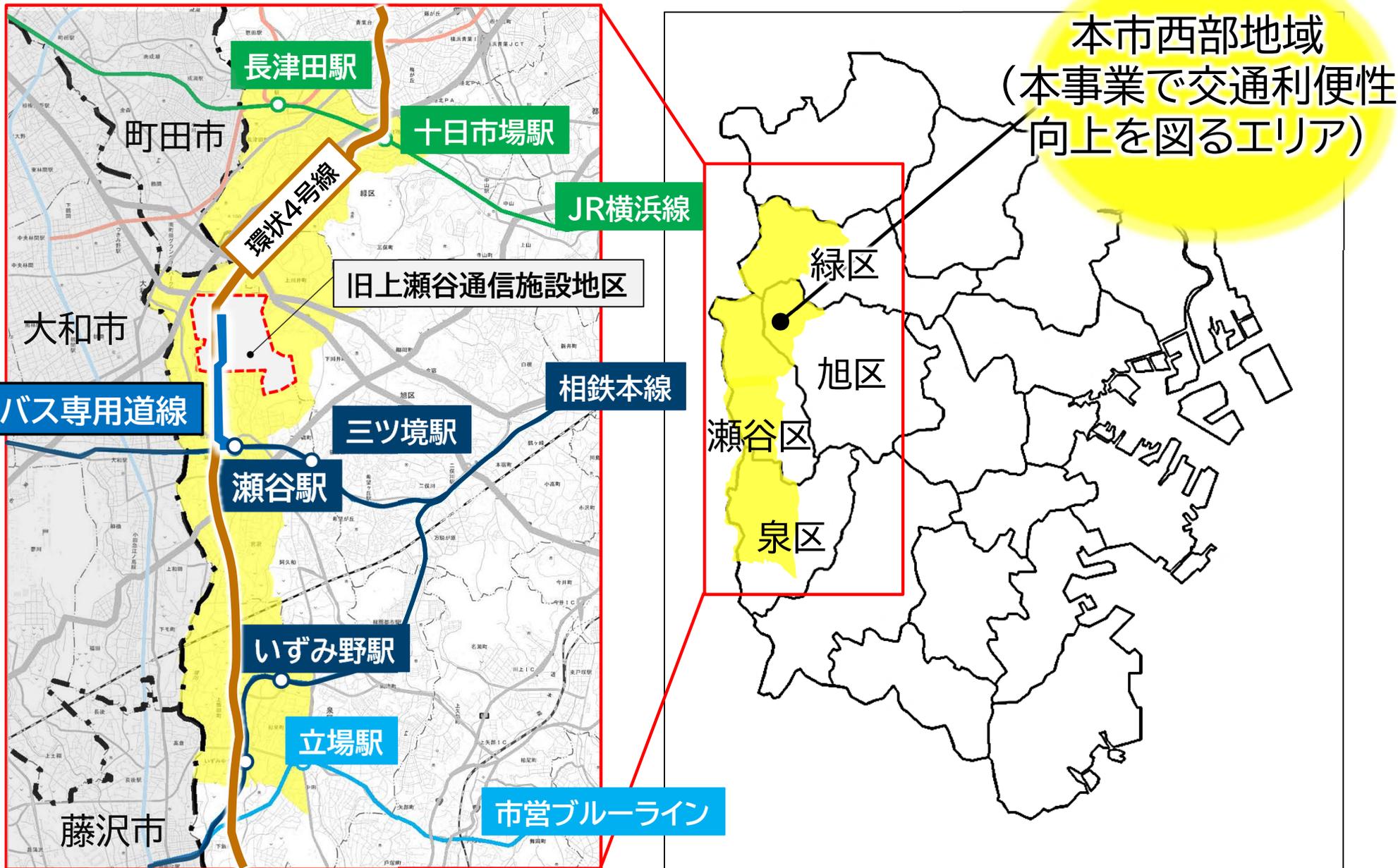
(1)事業方針

(2)整備概要

3. 今後の事業の進め方

1. 経緯 (1)本市西部地域の交通の現状

位置図



1. 経緯 (1)本市西部地域の交通の現状

現状① 本市西部地域には約22万人が居住している

- ・立場～瀬谷～十日市場の環状4号線沿線には、泉区・瀬谷区・旭区・緑区の総人口の約3割以上にあたる約22万人が居住（図中□）
 - 十日市場 ～ 瀬谷 ▶ 約12万人が居住
 - 瀬谷 ～ 立場 ▶ 約10万人が居住
- ・立場～瀬谷～十日市場には、郊外部住宅地を構成する大規模団地が複数存在（図中■）

特に人口の多い若葉台団地(旭区)

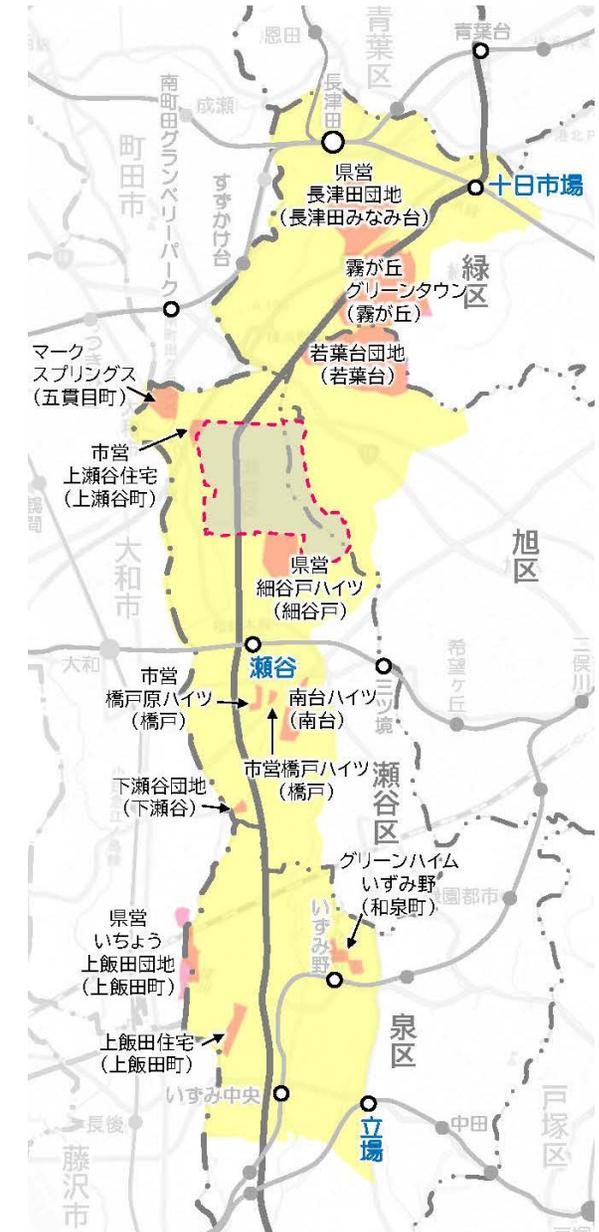


高齢化

人口減少

運転手不足

⇒バス路線の維持が課題



1. 経緯 (1)本市西部地域の交通の現状

現状② 公共交通ではカバーできないエリアが存在する

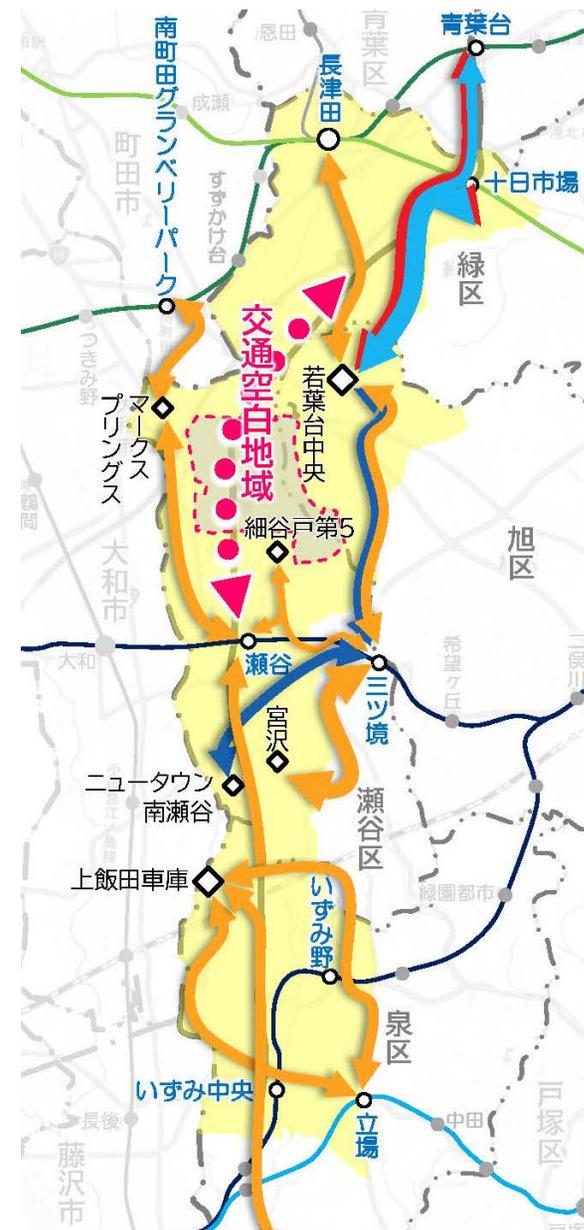
- ・市営・東急・相鉄・神奈中の4者が運行
⇒ 交通空白地域が存在
- ・本市西部地域の鉄道路線は東西方向に敷設
⇒ 南北方向の交通ネットワークが脆弱

市西部地域の鉄道ネットワーク



<主なバス路線>

- ↔ 横浜市交通局
- ↔ 東急バス
- ↔ 相鉄バス
- ↔ 神奈川中央交通



1. 経緯

(1)本市西部地域の交通の現状

(2)旧上瀬谷通信施設地区におけるまちづくり

2. 事業計画の概要

(1)事業方針

(2)整備概要

3. 今後の事業の進め方

1. 経緯 (2)旧上瀬谷通信施設地区におけるまちづくり

旧上瀬谷通信施設地区の経緯

接收後、米軍施設として使用されてきたため、
約70年にわたって土地利用が制限されてきた

- 昭和26年 3月 米軍により接收
- 平成16年10月 日米合同委員会において、返還の方針が合意
- 平成27年 6月 旧上瀬谷通信施設の全域が返還

◀地権者、地域の方々・市民意見を踏まえ▶
4つの新たな土地利用と新たな交通や
新たなインターチェンジの導入

郊外部の新たな活性化拠点の形成

～みらいまで広げるヒト・モノ・コトの行き交うまち～

- 令和 2年 3月 「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画」策定
- 令和 5年 2月 「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画
デザインノート」策定

計画的なまちづくりに向けた基盤整備を開始

- 令和 4年10月 旧上瀬谷通信施設地区土地区画整理事業
事業計画決定



1. 経緯 (2)旧上瀬谷通信施設地区におけるまちづくり

土地利用の方針とインフラ整備計画

新たな
インターチェンジ
の整備

周辺道路の整備

農業振興地区

防災・公園地区



物流地区



観光・賑わい地区

新たな交通の整備



旧上瀬谷通信施設地区におけるまちづくりに関連する上位・関連計画

横浜国際港都建設計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針(令和7年5月改定)

(2)都市施設の整備に関する主要な都市計画の決定の方針

① 基本方針

鉄道や道路などの交通施設については、まちづくりや環境に調和させながら整備を進め、利便性向上に資する良好な交通ネットワークの形成を図る。特に、米軍施設跡地等で土地利用転換を行う場合は、必要に応じて道路など周辺の都市基盤整備を進める。

横浜市都市計画マスタープラン瀬谷区プラン(平成29年3月)

4 部門別まちづくりの方針

4 都市交通の方針 基本的な考え方

旧上瀬谷通信施設の跡地利用の具体化と連携し、必要な道路、公共交通等の基盤整備を検討します。

旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画(令和2年3月)

第6章 関連施設計画

1 新たな交通

計画地における大規模な土地利用転換に伴い、発生が想定される交通需要に対応し、横浜市郊外部の新たな活性化拠点の形成に資する、瀬谷駅を起点とした新たな交通の導入を図ります。

1. 経緯

(1)本市西部地域の交通の現状

(2)旧上瀬谷通信施設地区におけるまちづくり

2. 事業計画の概要

(1)事業方針

(2)整備概要

3. 今後の事業の進め方

2.事業計画の概要 (1)事業方針

新たな交通整備事業の事業化の背景

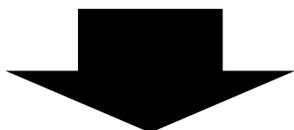
本市西部地域の交通の現状

- ・上瀬谷周辺には交通空白地域が存在
- ・南北方向の交通ネットワークが脆弱
- ・高齢化・人口減少などによる公共交通の利用低下



旧上瀬谷通信施設地区の現状と土地利用転換

- ・接收による道路などのインフラ整備の遅れ
- ・周辺主要道路の渋滞(主要渋滞箇所)
- ・将来的な交通需要に対応するインフラが必要



地域交通を充実させ、誰もが移動しやすい
南北の公共交通ネットワークの構築が必要

集中的かつ計画的なインフラ整備を進め、
円滑なアクセス、周辺環境負荷の低減を図る



本市西部地域における
南北方向の公共交通ネットワークの構築



郊外部の新たな活性化拠点の形成
みらいまで広げるヒト・モノ・コトの行き交うまち

2.事業計画の概要 (1)事業方針

<本市西部地域における地域交通のグランドデザイン 事業の目的>

本市西部地域における公共交通ネットワークを構築した まちの目指す姿

① 誰もが移動しやすいまちの実現

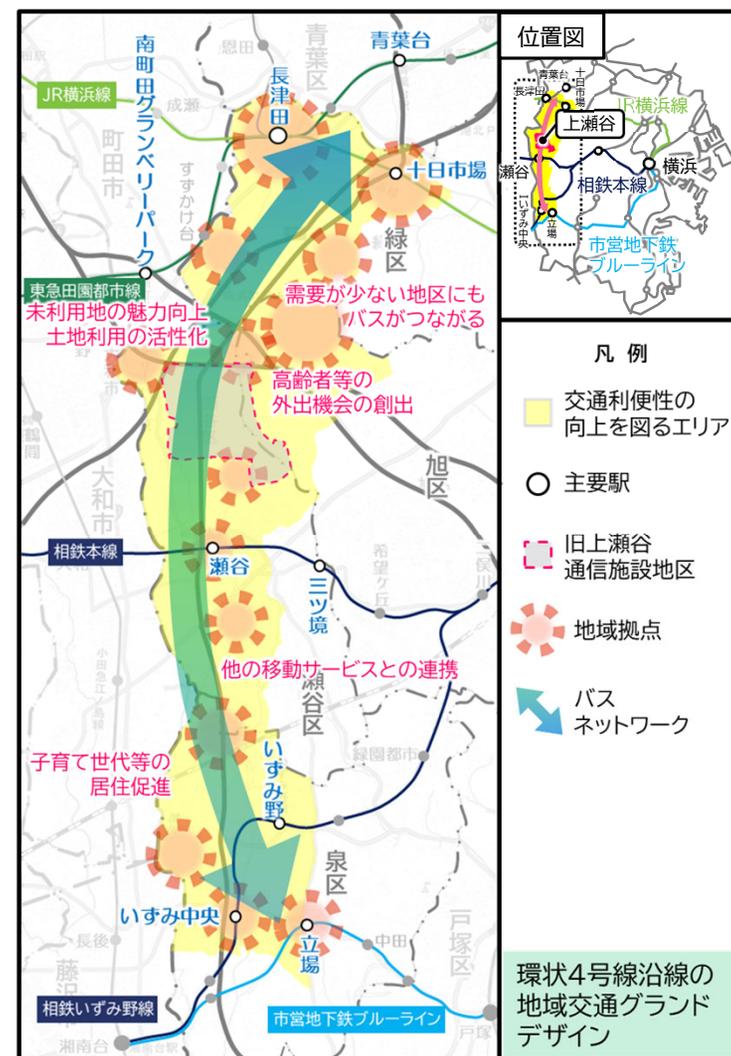
- 交通空白地域を解消し、複数の鉄道路線とつながるバスネットワークを構築

② 持続可能な地域交通体系の構築

- 旧上瀬谷通信施設地区への来街者の交通需要を軸とした地域交通の維持・改善
- 他の移動サービスなどと連携して地域の交通利便性を向上

③ 脱炭素化を推進するエリア形成

- 移動しやすいまちの実現により免許返納や公共交通利用への転換に寄与
- 最新の環境先進車両の導入を検討



本市西部地域における南北方向の公共交通ネットワークの構築を図るため、
新たな交通整備事業の方針決定(令和6年1月)

2.事業計画の概要 (1)事業方針

<新たな交通整備事業の内容>

新たな交通整備事業では環状4号線を軸として瀬谷駅から南北方向の鉄道路線と接続するバスのネットワークを構築する

① 既存インフラの活用

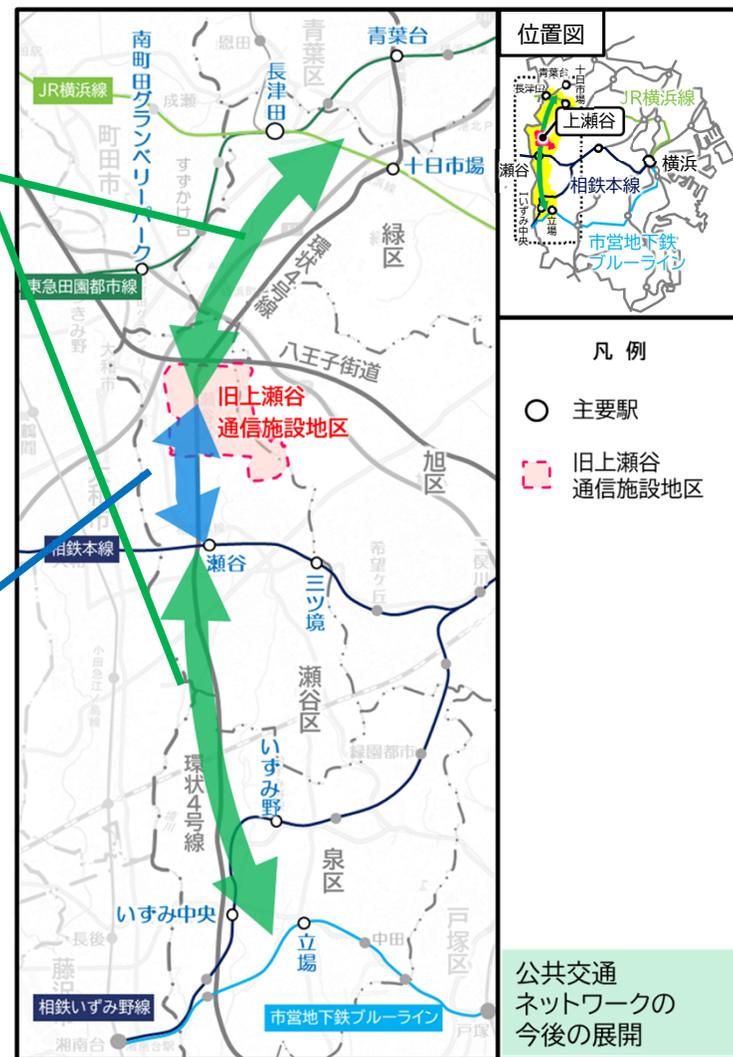
八王子街道と環状4号線との立体交差道路や既存の環状4号線を活用し、バスのネットワークを構築していく

今回説明範囲(瀬谷バス専用道線)

② 上瀬谷周辺の交通渋滞を抑制するバス専用道の構築

道路混雑の抑制や来街者への利便性向上のため、公共交通で来訪する方の需要に対応可能な輸送力・速達性・安定性を有する輸送システムを導入するため専用道を整備する

多くの方々に公共交通機関をご利用いただくことで自動車交通による周辺道路の混雑抑制をはじめ周辺地域の環境負荷の低減等を図る



<導入する輸送システム(瀬谷～上瀬谷間の輸送システム)>

「次世代技術(自動運転・隊列走行)を活用したバス」による新たな輸送システムの導入を目指します。

瀬谷・上瀬谷間において、**周辺環境への影響が最小限となる地下区間に、道路混雑の影響を受けないバス専用の道路を整備し**、連節バスが最大3台で隊列走行することで、運転手の省人化を図るとともに、多くの利用者を円滑に輸送するシステムを目指します。

将来的には、実証実験が進められているバスの自動運転技術の導入を目指し、調査・検討を進めていきます。

【参考】輸送システム及び路線イメージ



大きな乗車定員の確保

連節バス



効率的な運行による省人化

自動運転・隊列走行技術



道路混雑の抑制

専用道(トンネル)



1. 経緯

(1)本市西部地域の交通の現状

(2)旧上瀬谷通信施設地区におけるまちづくり

2. 事業計画の概要

(1)事業方針

(2)整備概要

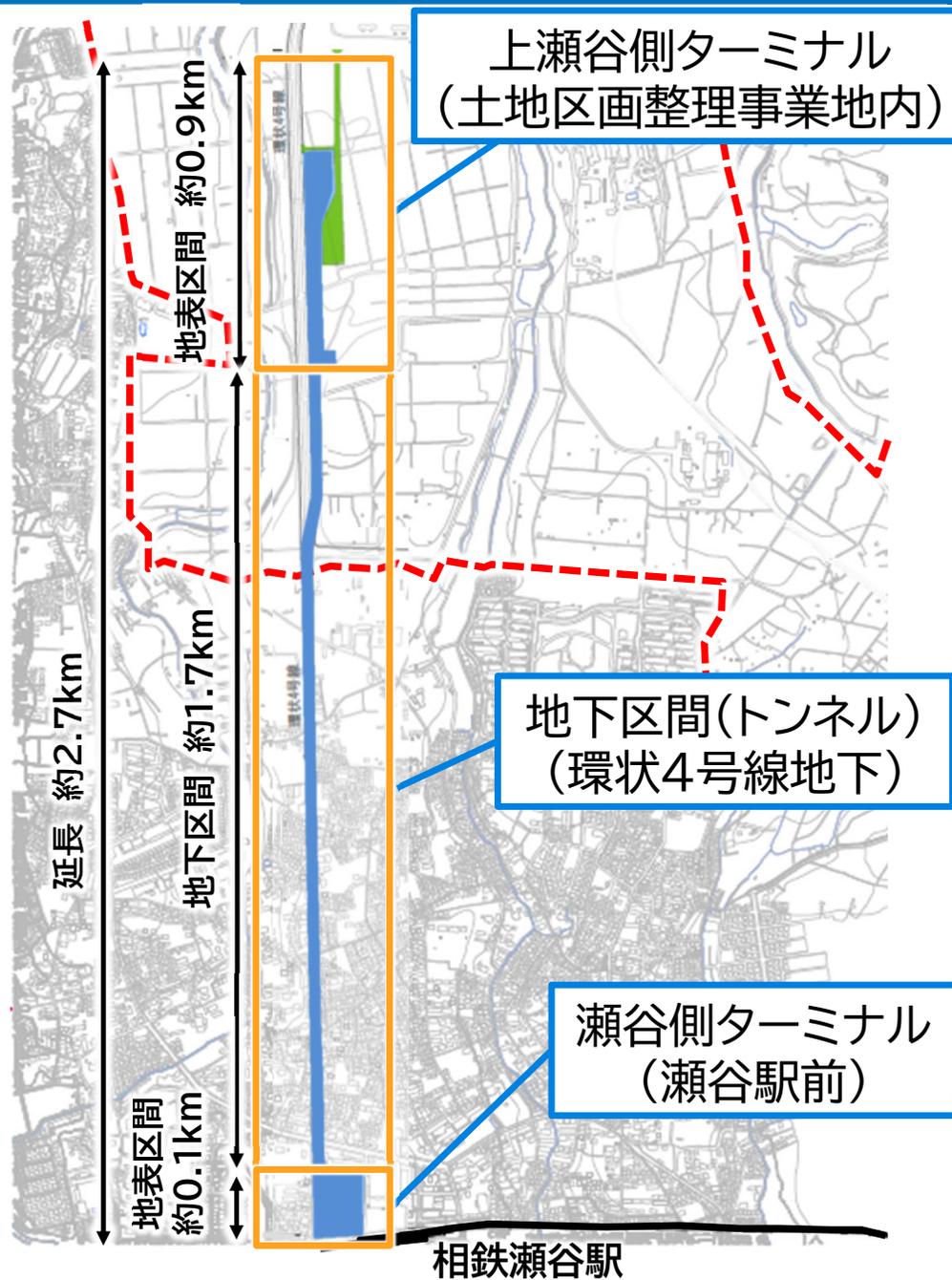
3. 今後の事業の進め方

2.事業計画の概要 (2)整備概要

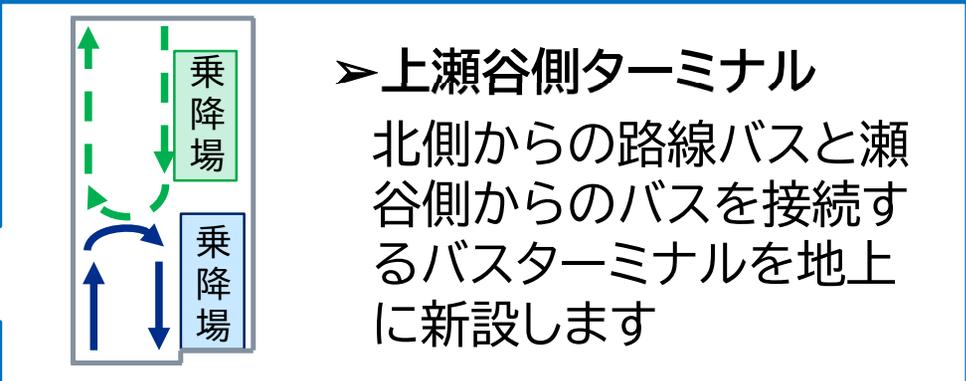
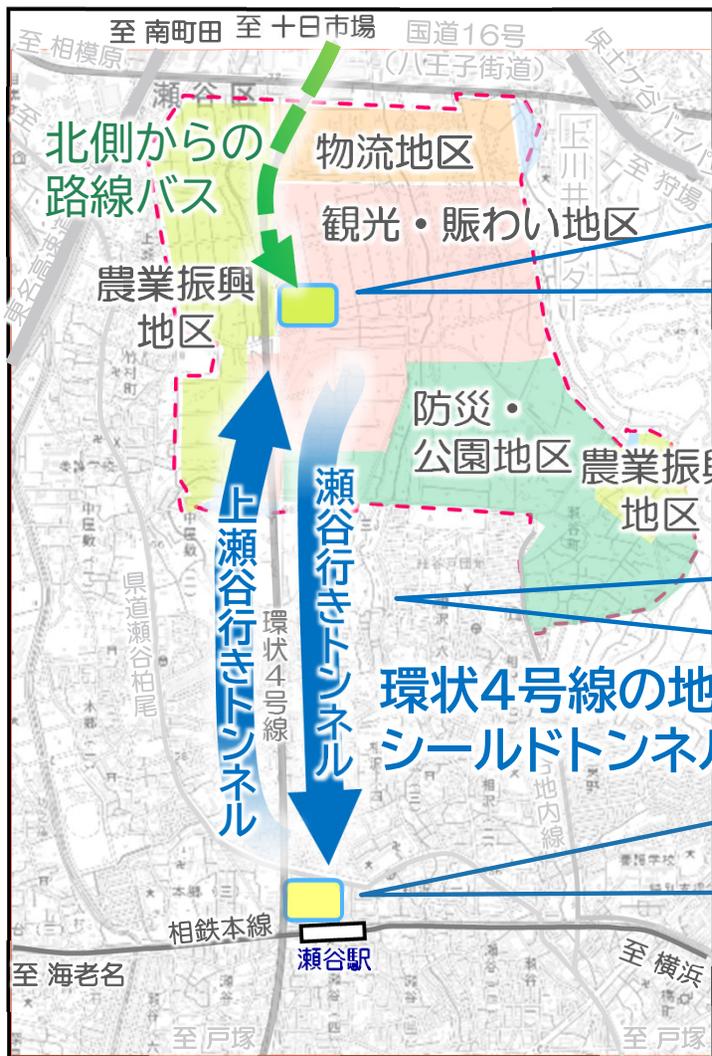
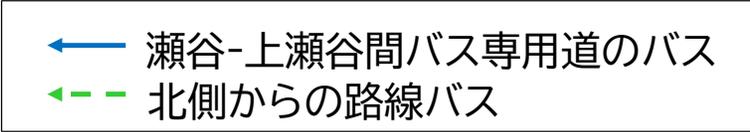
名称	新たな交通(瀬谷バス専用道線)整備事業
計画区域	瀬谷区中央～瀬谷区瀬谷町
延長	約2.7km (地下式 約1.7km、地表式 約1.0km)
構造形式	地下式・地表式

- 瀬谷駅を起点とし、上瀬谷地区に至る専用道を整備
- 瀬谷駅から上瀬谷地区までの専用道は、既存の交通と分けるために環状4号線地下にトンネルを整備

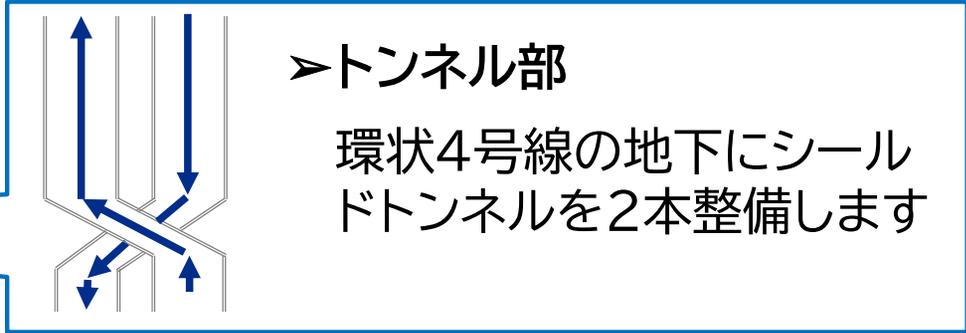
凡例	--- 土地区画整理事業範囲
	— 瀬谷・上瀬谷間バス専用道
	— 路線バス用道路



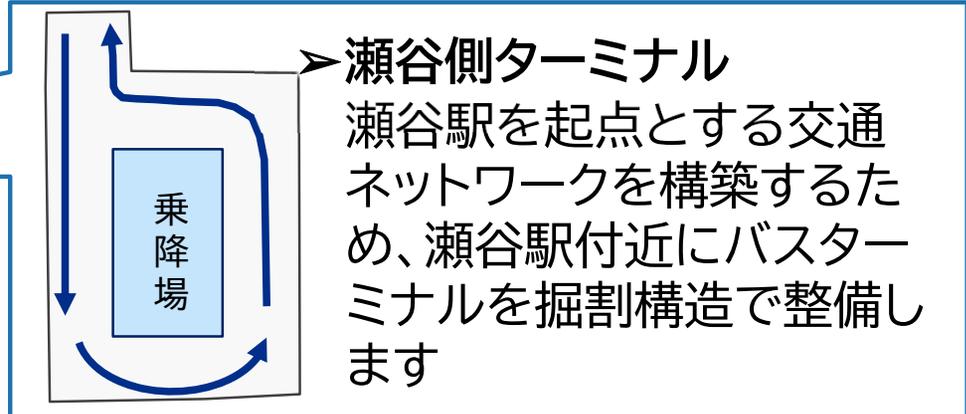
施設設計の前提となる路線計画について



➤上瀨谷側ターミナル
 北側からの路線バスと瀨谷側からのバスを接続するバスターミナルを地上に新設します

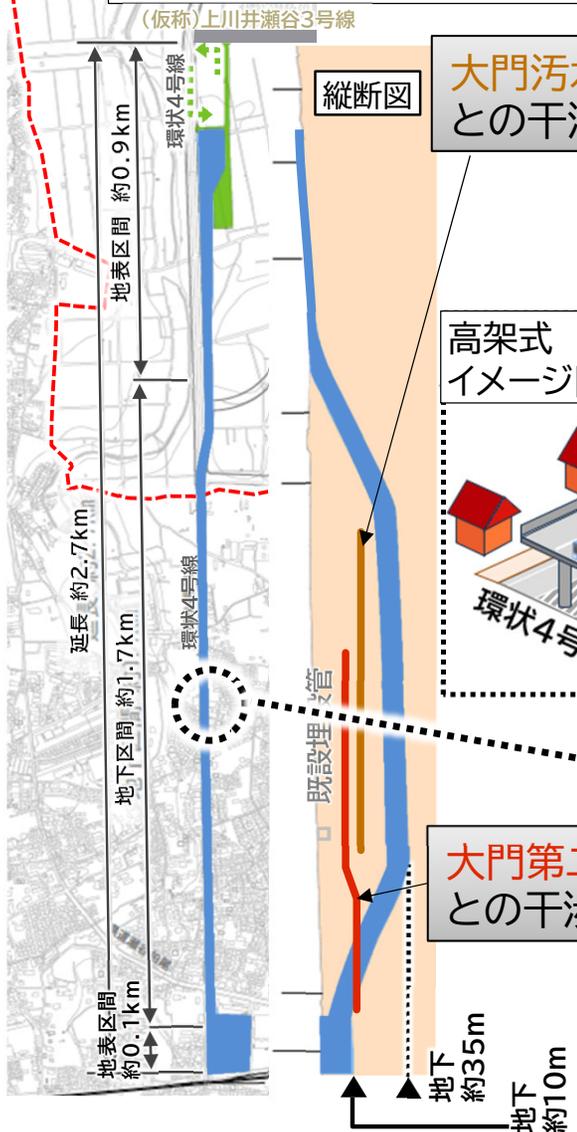
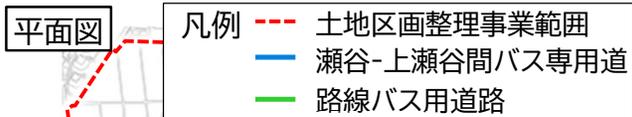


➤トンネル部
 環状4号線の地下にシールドトンネルを2本整備します

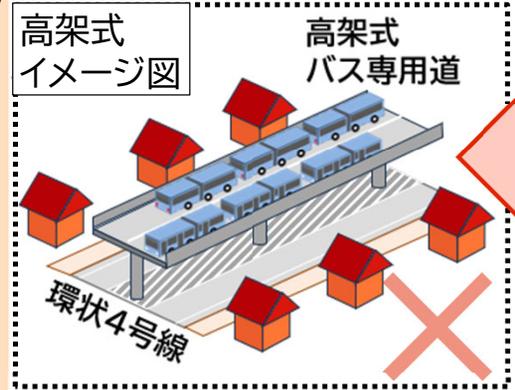


➤瀨谷側ターミナル
 瀨谷駅を起点とする交通ネットワークを構築するため、瀨谷駅付近にバスターミナルを掘割構造で整備します

トンネル部整備概要

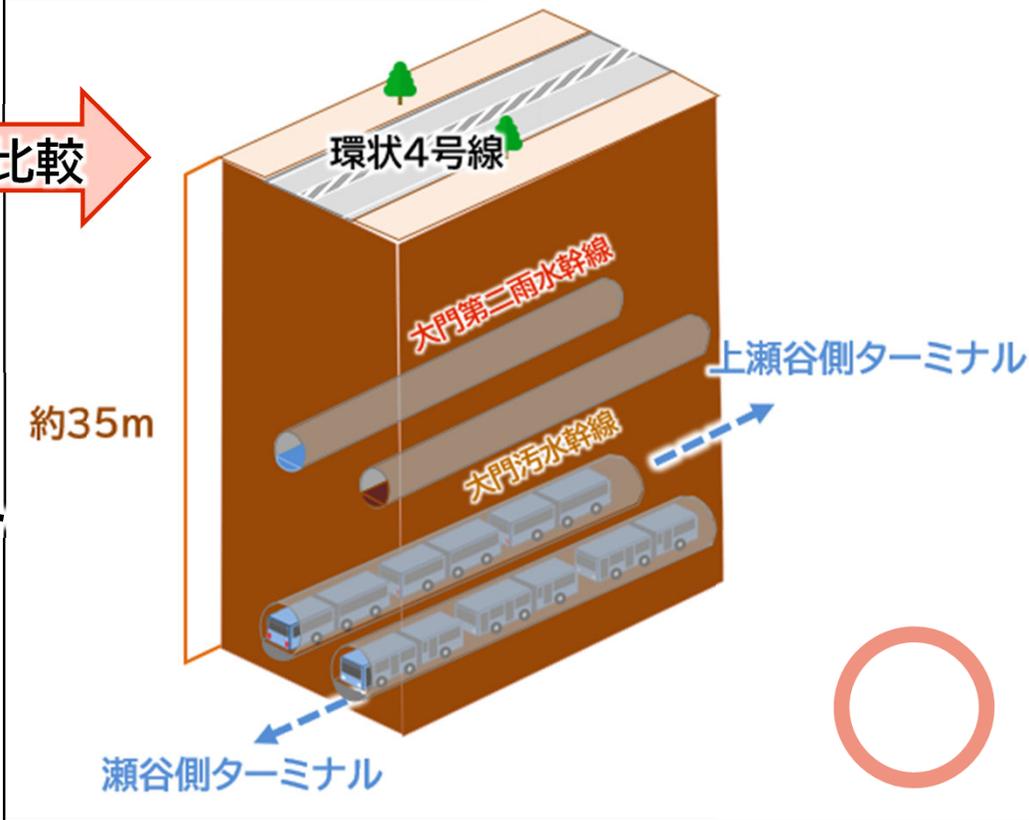


大門汚水幹線との干渉を回避



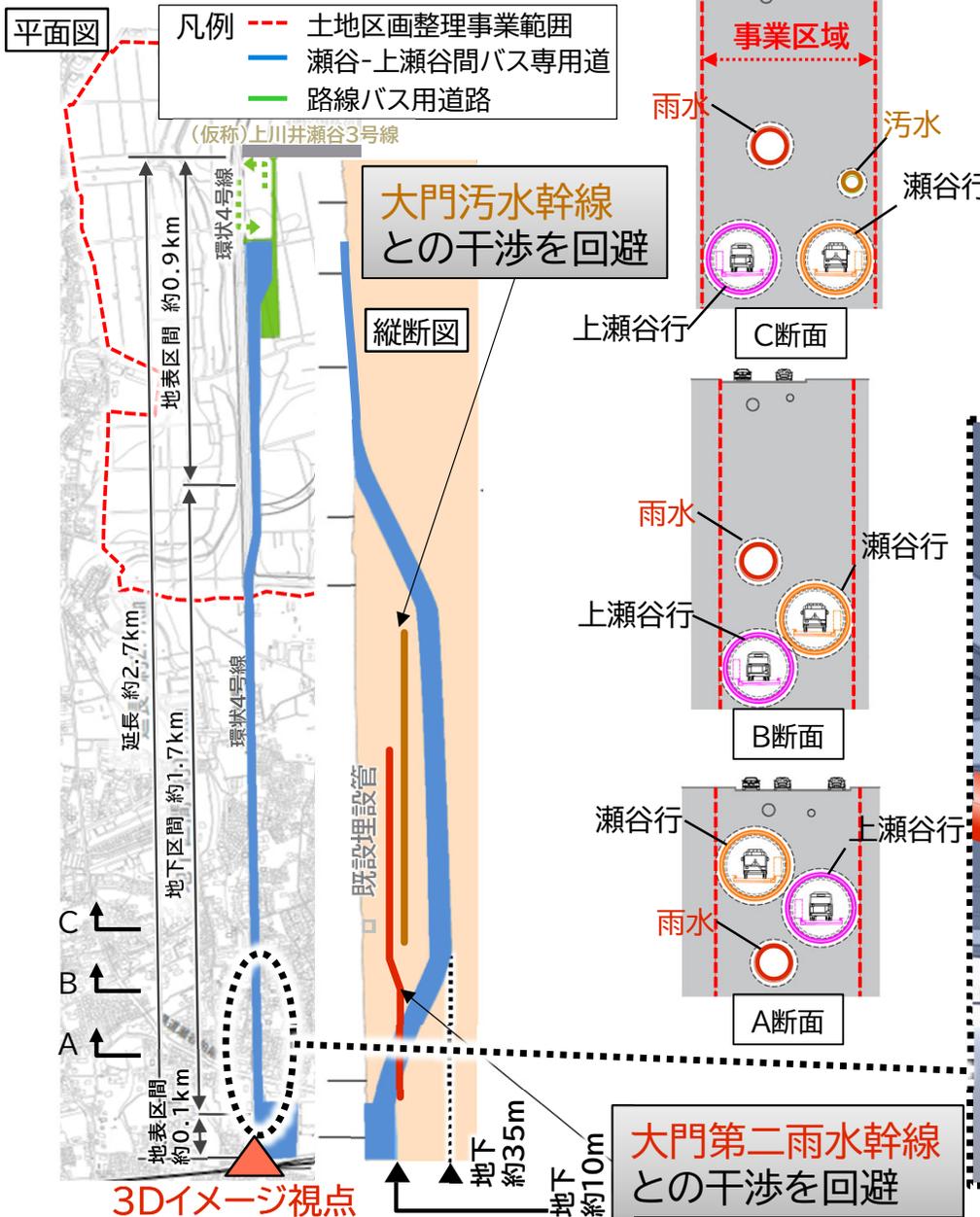
比較

(地下式)トンネル部イメージ図

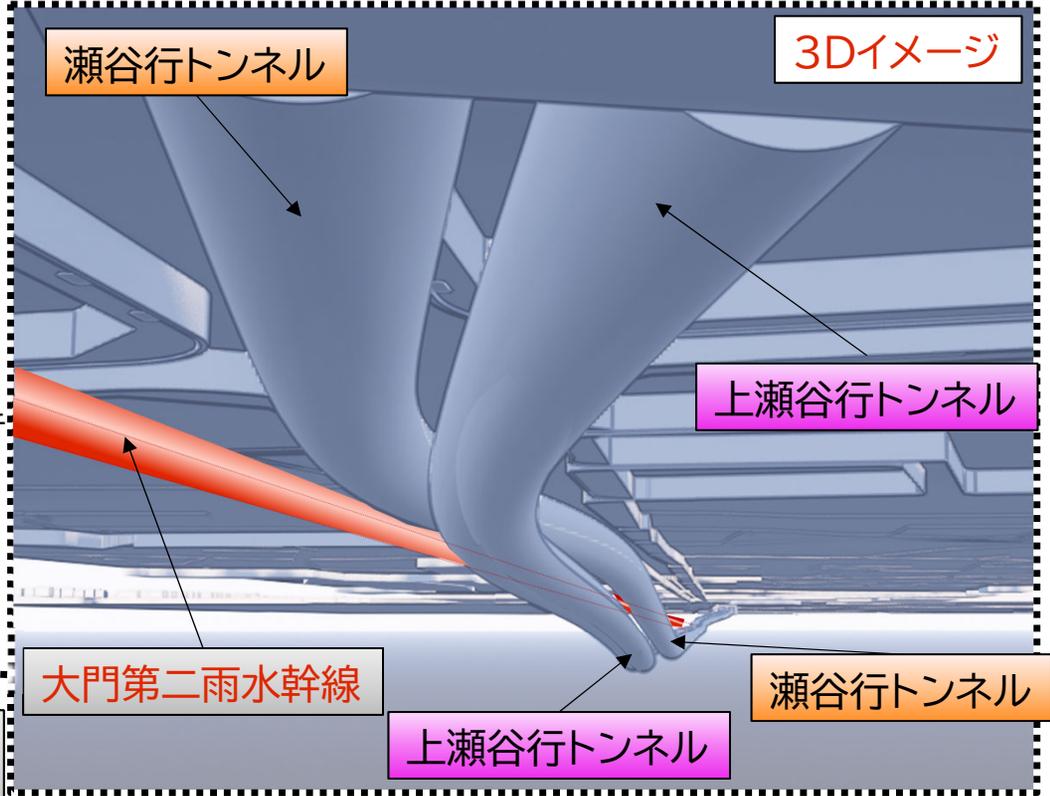


- すでに市街化されている環状4号線沿道の生活環境に、より影響が少ない地下式としました。
- 既設の下水幹線を避けて、地下約35mの深さに整備する計画とします。(10階建てビル相当)
- トンネルは環状4号線の道路区域内に計画しています

トンネル部整備概要

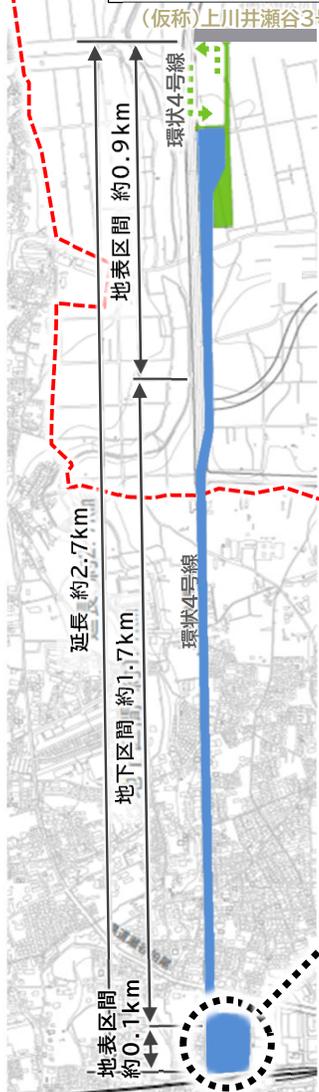


- 環状4号線には既設の大門第二雨水幹線があり、2車線1本のトンネルを整備する空間は確保できません。
- 大門第二雨水幹線を避けるため、1本1車線のトンネルを2本整備する計画です。

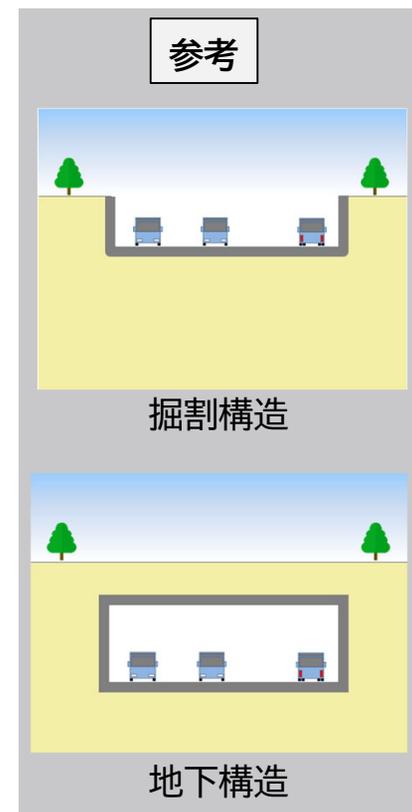
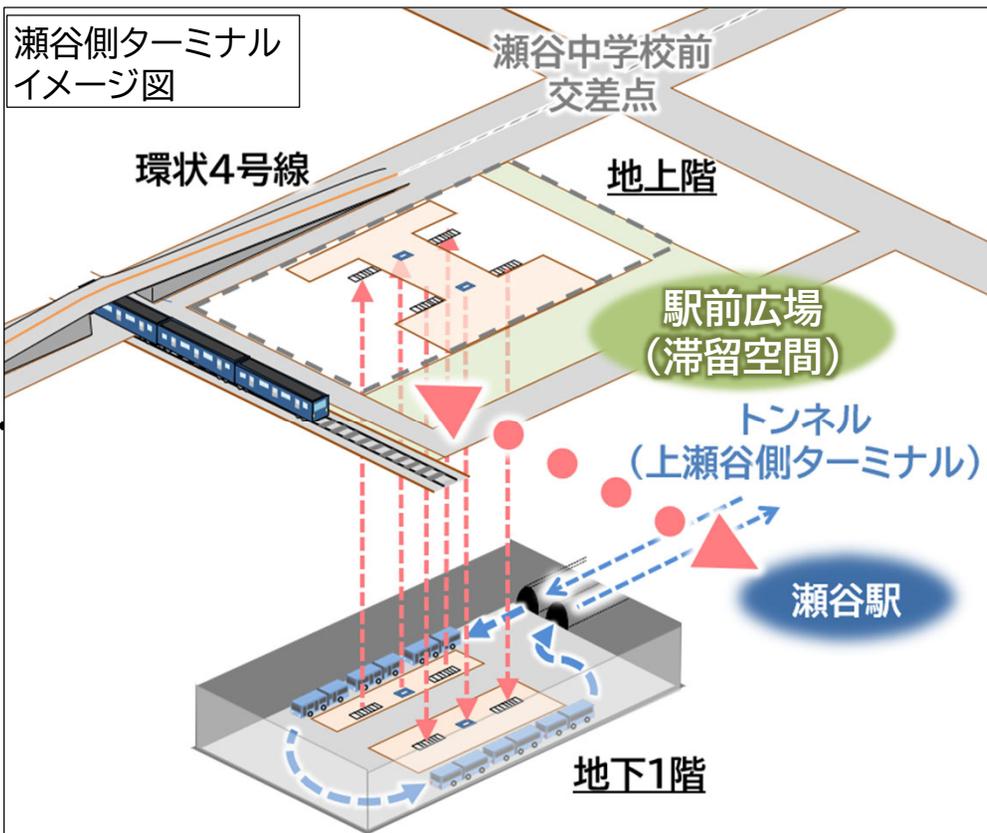


瀬谷側ターミナル整備概要

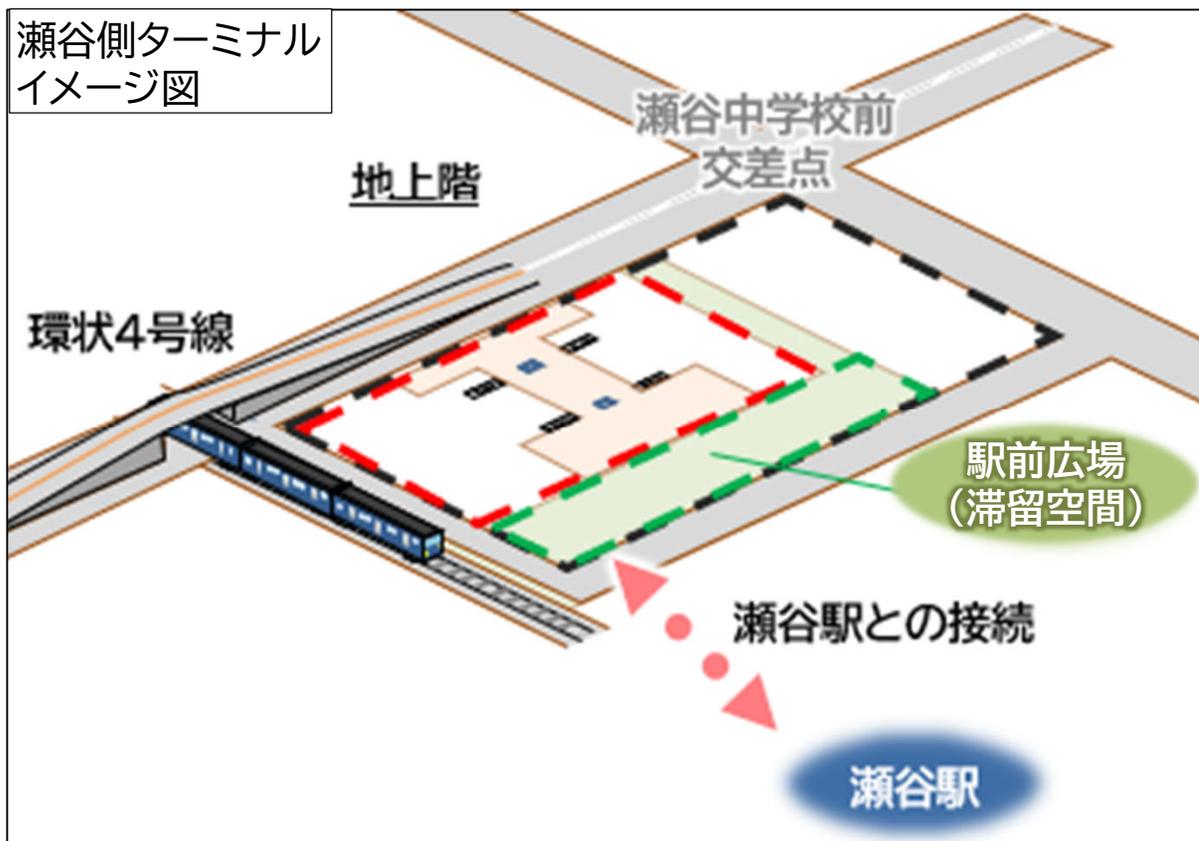
平面図
 凡例
 - - - 土地区画整理事業範囲
 — 瀬谷-上瀬谷間バス専用道
 — 路線バス用道路



- 移転後の瀬谷中学校敷地を活用し、瀬谷側ターミナルを整備します。
- 瀬谷側ターミナルを掘割構造にする理由
 地下トンネルに接続するため深度が深くなりますが、乗換利便性を考慮し、深度が深くなりすぎない掘割構造とします



瀬谷側ターミナル 1階 整備概要



➤ 駅前広場(滞留空間)
瀬谷側ターミナル前の広場は駅前広場として整備します。駅前広場を創出することで、瀬谷側ターミナルの利用者と相鉄本線瀬谷駅の利用者の滞留空間とします。また、にぎわいの場や交流にも活用できる計画としています。

➤ 瀬谷駅との接続について
交通需要の増加に伴う旅客に対応するため、瀬谷側ターミナルおよび相鉄線瀬谷駅との接続については相模鉄道(株)と協議しています。

- 凡例
- 瀨谷中学校敷地
 - バス乗降施設
 - 駅前広場

瀬谷側ターミナル用地について

瀬谷中学校移転の経緯

R元年10月 神奈川県立瀬谷西高校廃校後跡地に横浜市立瀬谷中学校が移転することについて（要望）受領

R5年10月 横浜市立瀬谷中学校の神奈川県立瀬谷西高等学校跡地への新築・移転について（要望）受領

R6年3月 横浜市立瀬谷中学校移転に関する地域説明会 実施

施設面

- ・校舎棟の老朽化により、建替えを本格的に検討せざるを得ない状況。
- ・今後の生徒数の見込みから、プレハブ棟が撤去できない状況

通学環境面

- ・遠距離通学による、自転車通学をはじめ、通学時の安全面に懸念が生じている状況。
- ・近隣中学校が無く、通学区域の見直しによる解消が難しい状況

これらの課題を解決し、より良い教育環境を構築するため、横浜市立瀬谷中学校を、旧神奈川県立瀬谷西高等学校跡地へ移転・建替（新築）を行います。

説明会でいただいたご意見・ご指摘(抜粋)

- ・駅前の広い土地なので、有益に活用してほしい
- ・現瀬谷中学校の土地には、当時の地権者から土地を譲り受けたといった経緯があるため、そうしたことが分かるものを跡地に設置してほしい。

瀬谷中学校敷地の今後の活用について

瀬谷駅周辺の「都市計画マスタープラン瀬谷区プラン」による位置づけ

「駅周辺の生活拠点」の形成

・三ツ境駅及び瀬谷駅周辺では、拠点市街地を中心として、人口規模や人口構成に応じ、働く、楽しむ、買うなどの多様な都市活動を支える機能集積と交通ターミナルの整備をはじめとした基盤整備を進めていきます。また、公開空地等を確保し、建物の緑化を進めるなど、生活拠点としての魅力を高めるように誘導します。

瀬谷駅周辺

- ・商業集積とともに、業務、文化機能の拠点としてのまちづくりを進めます。
- ・旧上瀬谷通信施設の最寄駅として、旧上瀬谷通信施設の跡地利用の具体化と連携したまちづくりを進めます。

瀬谷中学校敷地の活用に向けた横浜市の考え

- ・瀬谷中学校の足跡や、上位計画、地域要望を踏まえ、魅力ある駅周辺の生活拠点形成につながる場所となるよう、地域の方々のご意見を伺いながら今後検討していきます。
- ・旧上瀬谷通信施設地区と連携したまちづくりを進めます。また、同地区への交通需要に対応するため、瀬谷駅と接続する新たな交通のターミナルを整備します。

1. 経緯

(1)本市西部地域の交通の現状

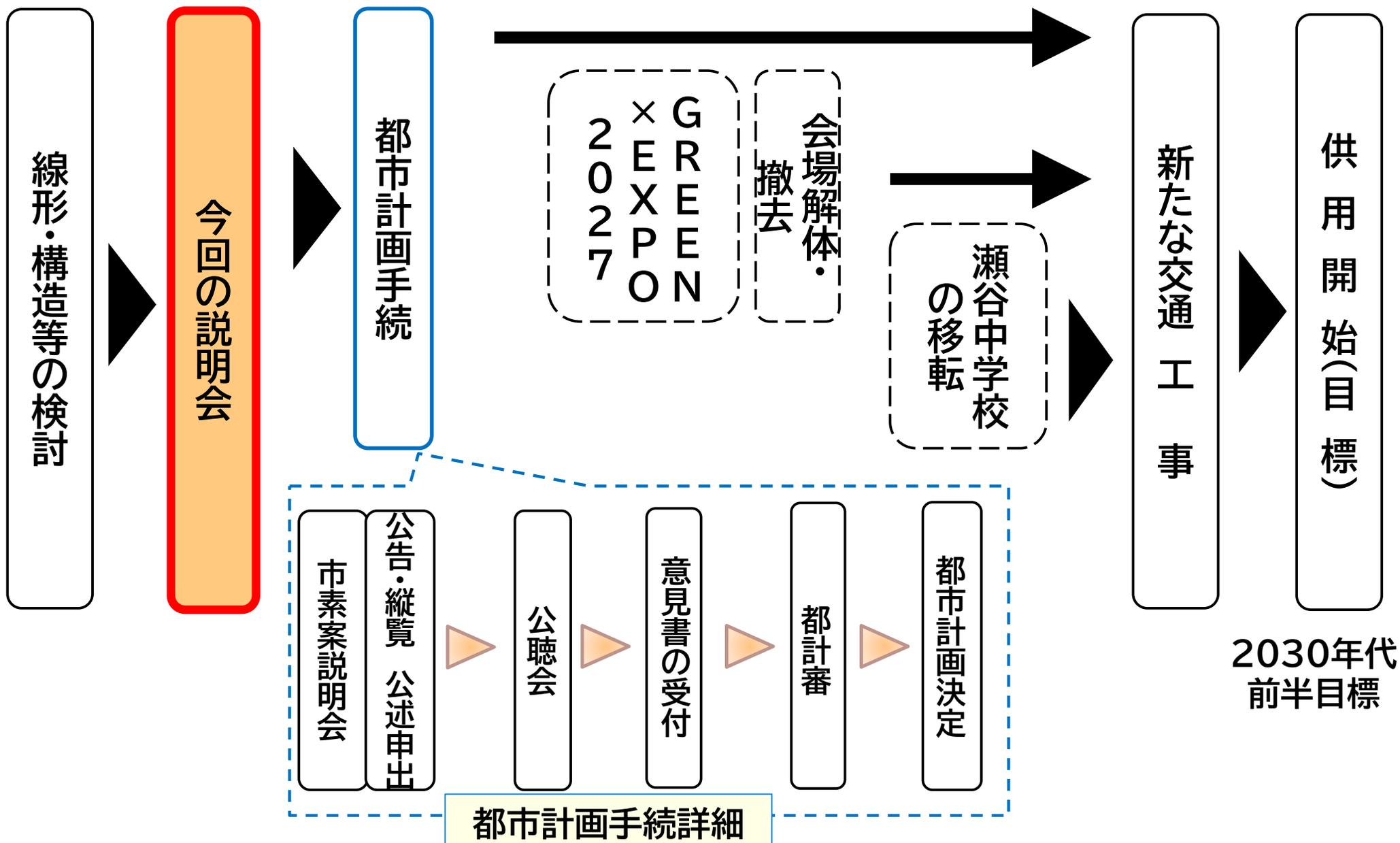
(2)旧上瀬谷通信施設地区におけるまちづくり

2. 事業計画の概要

(1)事業方針

(2)整備概要

3. 今後の事業の進め方



新たな交通整備事業に関すること

横浜市 脱炭素・GREEN×EXPO推進局
上瀬谷交通整備課

TEL : 045-671-4607

ご清聴ありがとうございました。